



セットアップガイド

Textile software RIP

Mimaki™

TxLink™5



MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

ErgoSoft AG
Moosgrabenstr. 13
CH-8595 Altnau, Switzerland

© 2024 ErgoSoft AG, 無断転用禁止

このマニュアルに記載されている情報は発行時点で入手可能な情報に基づいており、予告なく変更することがあります。正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

ErgoSoft AG による書面での許可なしに、本マニュアルのいかなる部分も電子媒体または読み取り可能な機械を含むいかなる形態においても複製または送信することはできません。

PANTONE® Colors displayed in the software application or in the user documentation may not match PANTONE-identified standards. Consult current PANTONE Color Publications for accurate color.

PANTONE® and other Pantone trademarks are trademarks or registered trademarks of Pantone LLC in the United States and/or other countries. Pantone LLC, 2022.

Pantone is the copyright owner of color data and/or software which are licensed to MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. to distribute for use only in combination with TxLink series. PANTONE Color Data and/or Software shall not be copied onto another disk or into memory unless as part of the execution of TxLink series.

商標または製品名は各社の商標または登録商標です。

TxLink5 には異なるエディションがあるため、このマニュアルに記載されている利用可能な機能の説明は必ずしもご利用になられる **TxLink5** のエディションのライセンスを反映するものではありません。ご利用になられる **TxLink5** のエディションに含まれる機能についてはミマキエンジニアリングのウェブサイトをご参照いただくか、または、販売店にお問い合わせ下さい。

目次

はじめに.....	1
動作環境.....	1
複数台のプリンター接続について.....	2
TxLink5 サポートプリンターでの PICT の使用について.....	3
セットアップの流れ.....	4
TxLink5 をインストールする前に.....	5
TxLink5 のインストール・ライセンス認証.....	6
TxLink5 の初回設定.....	13
プリント環境の設定.....	13
プリント環境とは.....	13
プリント環境の追加方法.....	13
インクの設定.....	16
プリンターからインクのドット量を取得する.....	17
プリンターから出力設定を取得する.....	18
マニュアルダウンロード.....	18
こんなときは.....	19
TxLink5 ジョブコンポーザーを起動する.....	19
測色器を使用する.....	20
測定基準の設定.....	20
Barbieri のセットアップ.....	20
USB ドングルの場所を変更する.....	21

はじめに

この度は、弊社「TxLink5」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書ではTxLink5のセットアップに関して説明いたします。

動作環境

対象プリンター

TxLink5 Lite	TS100-1600, TS55-1800, TS330-1600, Tx300P-1800 MkII, Tx330-1800, TS200-1600
TxLink5 Standard	TS100-1600, TS55-1800, TS330-1600, Tx300P-1800 MkII, TS330-3200DS, Tiger-1800B MkII / MkIII (*1), Tiger600-1800TS, Tx330-1800, TS200-1600
TxLink5 Professional	TS100-1600, TS55-1800, TS330-1600, Tx300P-1800 MkII, TS330-3200DS, Tiger-1800B MkII / MkIII (*1), Tiger600-1800TS, Tx330-1800, TS200-1600

*1. Tiger-1800B MkII または MkIII をご使用の場合、プリンターを” Tiger-1800B MkII / MkIII” として登録してください。

対応画像： PostScript2/3、EPS、AI、PDF（1.3～1.7）、JPEG、BMP、PNG、TIFF、PSD
インストール推奨システム要件：

要件	推奨条件
OS	Windows 10® Home (64bit) Windows 10® Pro (64bit) Windows 11® Pro
ウェブブラウザ (*1)	Microsoft Edge, Google Chrome
プロセッサ (*2)	intel® Core i7 (または i5) 物理コア数:8
チップセット (*2)	intel® 純正チップセット
RAM	18GB 以上
ストレージ	1TB 以上 SSD * 2 台以上
ネットワークインターフェイス (*3)	1000BASE-T (*4)
ネットワークケーブル	カテゴリ 6 (CAT6)
USB インターフェイス (*5)	USB2.0 ポート
ディスプレイ	1,700 x 900 ピクセル以上

- *1. ライセンス認証に必要です。Internet Explorer ではライセンス認証できません。
- *2. プロセッサ及びチップセットは、intel 社純正製品を使用してください。使用しない場合、印刷中にエラーが発生し、印刷が中断する可能性があります。
- *3. ライセンス認証に必要です。TCP/IP ポート搭載プリンターに接続する場合も必要になります。
- *4. Tiger series をご使用の場合、10GBASE-T を推奨します。
- *5. ドングルの接続用に必要です。USB2.0 ポート搭載プリンターに接続する場合も必要になります。複数ドングル使用時は、外部から電源を供給するタイプの USB ハブを使用してください。ドングル 1 つ当たり、50mA 以上の電源供給が必要です。

複数台のプリンター接続について

TxLink5 は、プリンターの台数分の dongle を接続することで、複数台のプリンター接続（最大で 4 台）が可能です。しかし、複数台のプリンターで同時に印刷したい場合は、注意すべき点があります。

要件	必要条件
プリンターインターフェイス	・イーサネット接続が必要です。 不要なネットワークノードを接続せず、ネットワーク HUB を 1 台だけ経由したローカルネットワーク環境を推奨します。 ・USB2.0 インターフェイス接続は、同時印刷に十分な転送速度がありません。
プロセッサ	・高性能なものが必要です。 前のページで説明した「推奨」システム要件を参照してください。
RAM	
記憶装置	
RIP ステーションにインストールされているソフトウェア	・TxLink5 以外のプログラム（および必須とされるセキュリティソフトウェア）を可能な限りアンインストールしてください。

参考情報として以下に例を示します。

これは単なる一例であり、パフォーマンスを保証するものではないことに注意してください。 PC のスペックだけでなく、画像データの複雑さなどの条件がパフォーマンスに影響を与えます。

例：

－ 以下の条件で、すべての作図モードで、プリント ヘッドを一時停止せずに複数台分のフル幅ステップアンドリピートジョブを同時に印刷しました。

要件	必要条件
プリンター	4 台の TS330-1600(4Color)、または 4 台の TS330-1600(8Color)
プリンターインターフェイス	1 台のネットワーク HUB を介して、1 台の RIP ステーションと 4 台の TS330-1600 のみを接続したイーサネット接続環境。
プロセッサ	Intel Core i5-13500
RAM	16GB
記憶装置	M2 SSD 235GB
画像ファイル	LZH 圧縮の CMYK TIFF ファイル（追加チャネルなし）

TxLink5 サポートプリンターでの PICT の使用について

TxLink5 からプリンターに送信する印刷ジョブの情報を PICT で表示するには、以下の条件が必要になります。

プリンターのファームウェアバージョンの取得：

本書の、[\[プリンターからインクのドット量を取得する\]](#) を参照し、プリンターのファームウェアバージョン情報を取得してください。

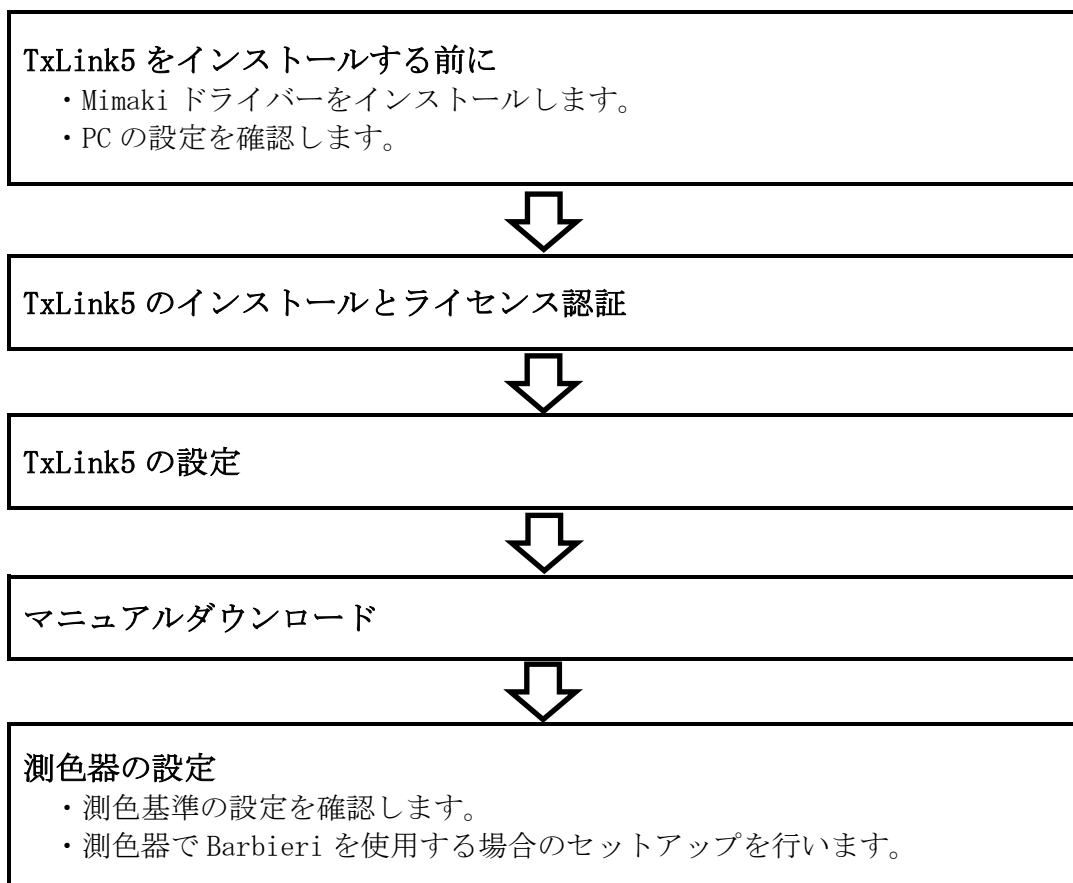
対象プリンター：TS330-1600, TS330-3200DS, Tx330-1800, TS200-1600

バージョン条件：

PICT サポートプリンター毎に、以下のバージョン以降のソフトウェアが必要になります。

プリンター	バージョン			
	プリンターファームウェア	MIMAKI Driver	PICT Up	PICT
TS330-1600	3.0	5.9.3	1.30	1.2.0
TS330-3200DS	1.1	5.9.6	1.30	1.4.0
Tx330-1800	1.1	5.9.10	1.41	1.4.1
TS200-1600	1.1	5.9.19	1.60	1.6.0
Tiger600-1800TS	1.02	N/A	1.30	1.2.0

セットアップの流れ



TxLink5 をインストールする前に

1 お手元に以下のものがあるかご確認ください

- ・ 使用するプリンターが登録可能な Edition の USB ドングル
USB ドングルがない、または使用するプリンターが登録できない Edition の USB ドングルの場合、弊社もしくは販売店にご連絡ください。

2 使用するプリンターに対応した Mimaki ドライバーをインストールしてください

Mimaki ドライバーは弊社公式サイト (<https://japan.mimaki.com/>) からダウンロードできます。対応機種は Mimaki ドライバーのダウンロードページで確認できます。

ただし、次の場合は Mimaki ドライバーをインストールしないでください。

- ・ Tiger-1800B MkII / MkIII, Tiger600-1800TS を使用する
- ・ TS55-1800, Tx300P-1800 MkII に Ethernet インターフェースで接続する

3 TxLink5 をインストールする PC をインターネット接続可能な状態にしてください

TxLink5 のライセンス認証には、インターネットアクセスと USB ドングルが必要です。

ライセンス認証前にデフォルトのウェブブラウザを Microsoft Edge または Google Chrome に変更してください。

テザリング環境ではライセンス認証できません。

4 PC の日時設定を確認してください

PC の時刻設定が正確か確認し、現在日時と一致していない場合は一致させてください。

PC の時刻設定が不正確な場合、アクティベートしても TxLink5 を使用できない場合があります。

5 Windows の自動更新の設定を確認してください

Windows Update で自動的に設定時間に更新プログラムをインストールし、PC を再起動する場合があります。印刷中であっても再起動することがあるため、印刷が中断します。

PC が自動的に再起動することを防ぐため、Windows Update の更新の一時停止を設定してください。また、アクティブ時間内に PC が再起動しないようにアクティブ時間の設定をしてください。

設定方法は OS のヘルプを参照してください。

6 Windows の電源の設定を確認してください

一定時間操作しない際に、システムスタンバイ（スリープ）に入るように設定している場合、印刷中であっても TxLink5 の動作が止まり、印刷が中断します。

これを防ぐため、システムスタンバイに入らないように設定してください。

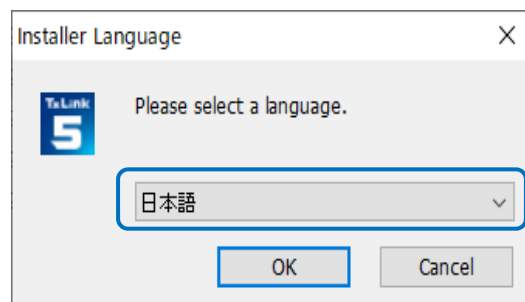
設定方法は OS のヘルプを参照してください。

TxLink5 のインストール・ライセンス認証

- 1 インストールする前に、PC をインターネットに接続してください。
- 2 弊社公式サイト (<https://japan.mimaki.com/download/software.html>) より TxLink5 のインストーラーをダウンロードしてください。
- 3 ダウンロードしたファイルを右クリックし、**[すべて展開]** を選択し、フォルダーを展開してください。
- 4 展開したフォルダーにある **[CD Menu.exe]** をダブルクリックします。
- 5 CD のメニュー画面が表示されます。
[TxLink5 のインストール] をクリックします。



- 6 **[Installer Language]** 画面が表示されます。
インストール時に表示する言語を選択し、**[OK]** をクリックします。



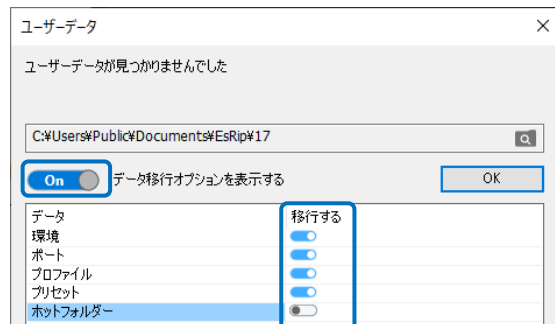
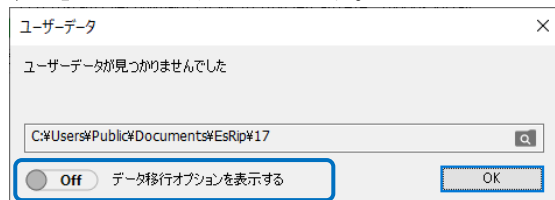
- 7 セットアップウィザードが起動します。
[次へ] をクリックします。
- 8 ライセンス契約書が表示されます。
お読みの上、ご同意される場合は **[同意する]** をクリックします。
- 9 インストール先を指定し、**[次へ]** をクリックします。
・十分に空き容量のあるドライブのフォルダーを選択してください。
- 10 セットアップの方法を指定し、**[次へ]** をクリックします。
- 11 スタートメニューフォルダを指定し、**[インストール]** をクリックします。
・インストールが開始します。
- 12 **[ユーザーデータ]** 画面が表示されます。
TxLink5 の設定が保存されるフォルダーを指定し **[OK]** をクリックします。



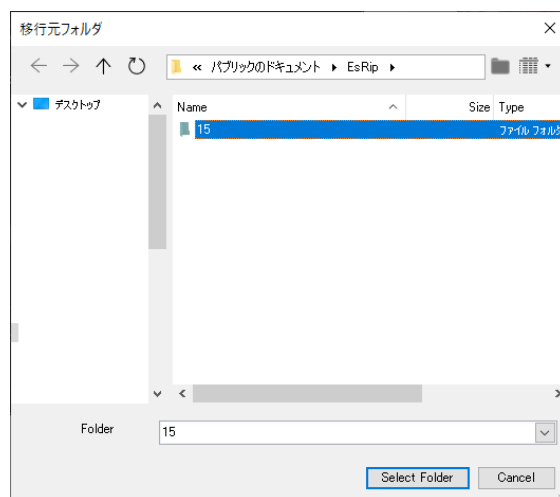
空のフォルダーを指定すると **【データ移行オプションを表示する】** トグルが表示されます。

【データ移行オプションを表示する】を ON にすると、TxLink4 または別の PC の TxLink5 のユーザーデータフォルダの以下の設定をインポートできます。

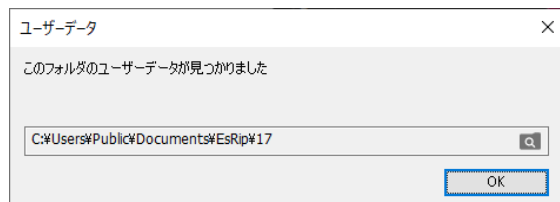
- ・ 環境 : プリント環境を移行します
 - ・ ポート : ポート定義を移行します (TCP/IP アドレスとフォルダーパスのみ)
 - ・ プロファイル : ICC プロファイルとリニアライゼーションを移行します
 - ・ プリセット : アプリケーションデフォルト、画像プリセット、ジョブプリセット、インクタイプ、およびメディアタイプを移行します
 - ・ ホットフォルダー : ホットフォルダー構成を移行します
- 移行したい設定を ON にして、**【OK】** をクリックします。



【移行元フォルダー】ダイアログが表示されます。設定をインポートしたいフォルダー (TxLink4 または別の PC の TxLink5 のユーザーデータフォルダ) を選択します。**【Select Folder】** をクリックします。

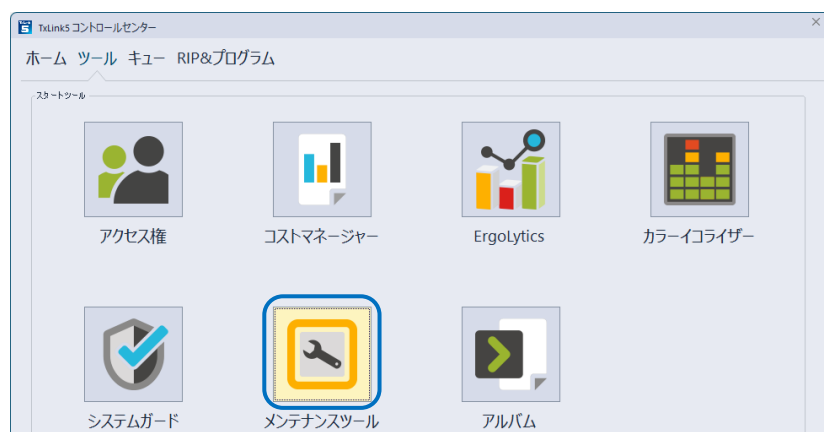


新しく TxLink5 の設定が保存されるフォルダーに、設定がコピーされます。**【OK】** をクリックします。

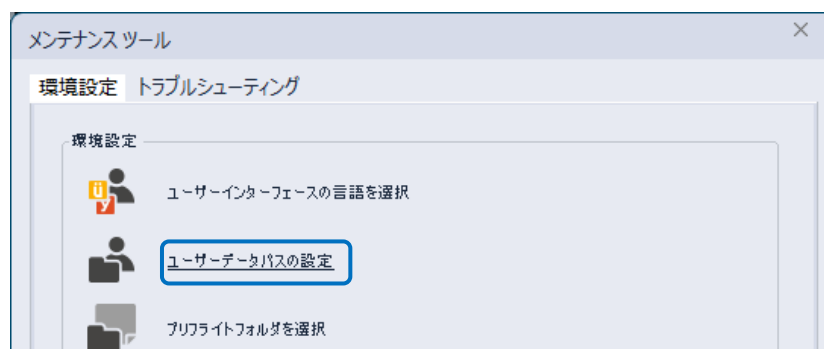


インストール後にデータ移行を実行したい場合は、メンテナンスツールを使用します。

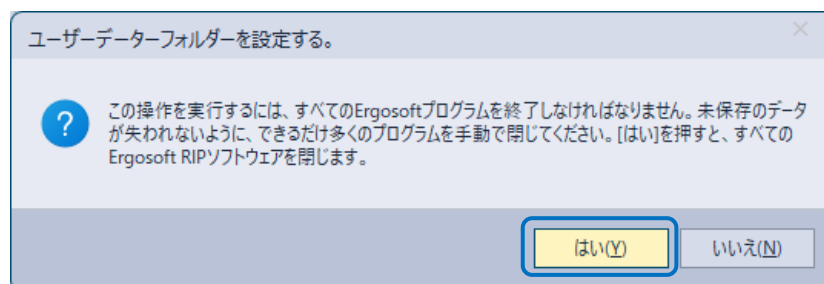
【TxLink5 コントロールセンター】の【ツール】タブで【メンテナンスツール】をクリックします。



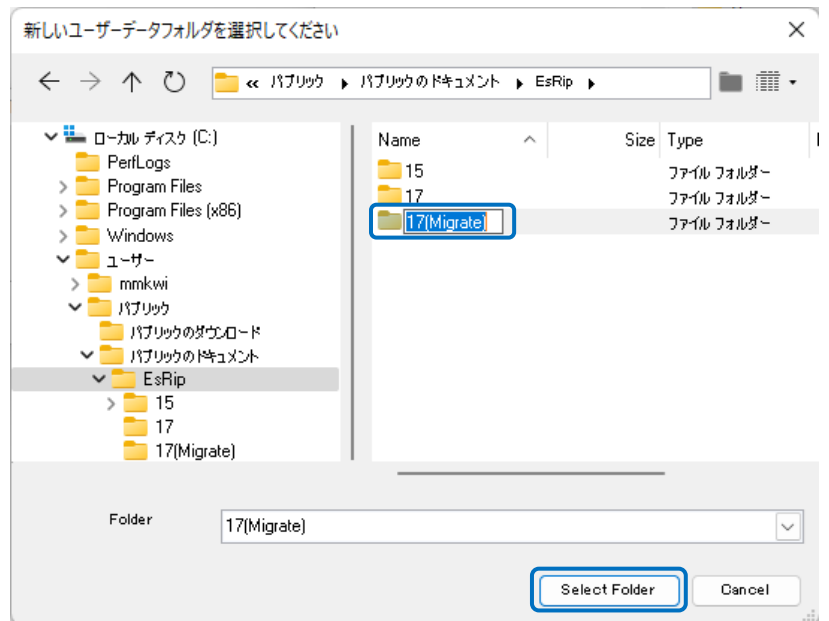
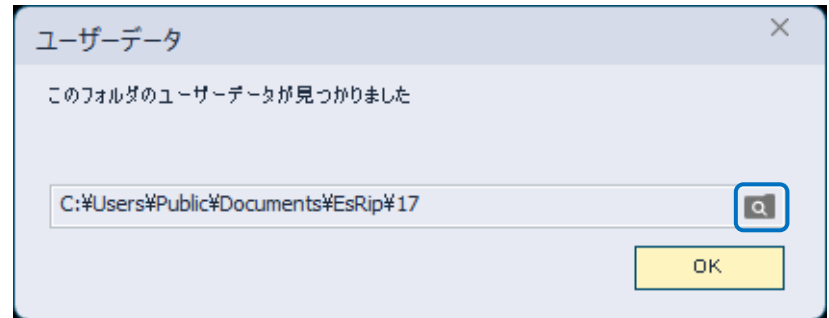
【環境設定】>【ユーザーデータパスの変更】をクリックします。



以下のメッセージが表示されます。【はい】をクリックして、影響のあるプログラムを閉じます。

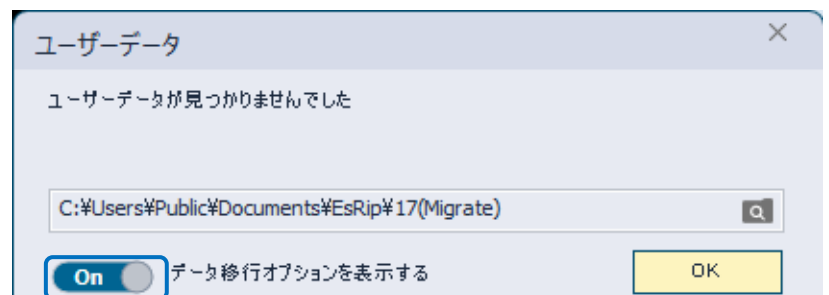


[ユーザーデータ] ダイアログでフォルダーアイコンをクリックし、“C:\Users\Public\Documents\EsRip” の下に新規フォルダーを作成して [Select Folder] をクリックします。または既存のフォルダを空にして選択します。



注：既にユーザーデータフォルダーとして使用していたフォルダーを選択すると、[データ移行オプションを表示する] トグルは表示されません。

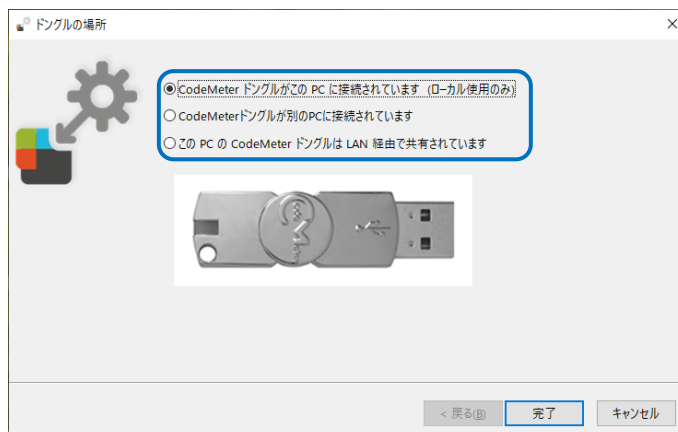
[データ移行オプションを表示する] を ON にし、前のページの説明に従いデータ移行を進めます。



13 PC に USB ドングルを接続します。USB ドングルのライトが点滅したことを確認します。

- ・ネットワークライセンスを使用する場合は、ライセンスサーバーとして機能する別のコンピューターに USB ドングルを接続します。

- 14 ドングルの場所を指定し、[完了]をクリックします。



dongleの場所は次から選択します。

- **「CodeMeter ドングルがこの PC に接続されています（ローカル使用のみ）」**
現在作業中の PC に USB ドングルが接続されている場合に選択します。
- **「CodeMeter ドングルが別の PC に接続されています」**
USB ドングルがネットワーク上のほかの PC に接続されている場合に選択します。事前に USB ドングルを接続している PC に TxLink5 をインストールし、 dongleの場所 で「この PC の CodeMeter ドングルは LAN 経由で共有されています」を選択し、ライセンス認証している必要があります。
[次へ] をクリックすると、「 dongleサーバー名」画面が表示されます。「 dongleサーバー名/アドレス」に USB ドングルが接続されている PC のネットワーク PC 名、または IP アドレスを入力するか、[参照] をクリックして手動で検索します。
- **「この PC の CodeMeter ドングルは LAN 経由で共有されています」**
USB ドングルをほかの PC でも使用する場合に選択します。



ここで指定した dongleの場所を変更したい場合は、[こんなときは] > [USB ドングルの場所を変更する] を参照してください。

- 15 [ライセンスアクティベーション] 画面が表示されます。

[ライセンスウェブデポ] のリンクをクリックします。

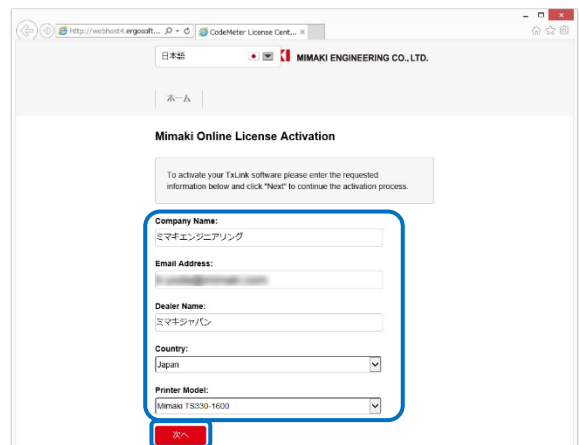


16 **[Mimaki Online License Activation]** 画面が Web ブラウザに表示されます。

会社名、担当者の E-mail アドレス、国名、TxLink5 をご購入いただいた販売店名、ご使用のプリンター名を入力してください。

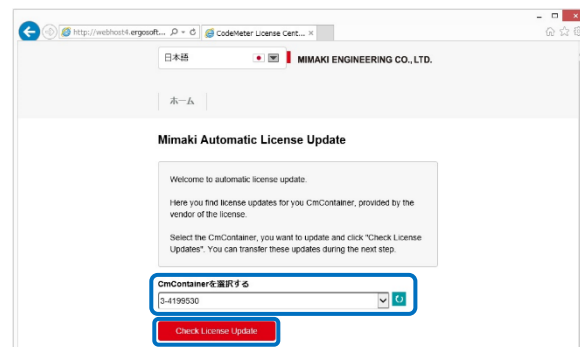
全て入力したら、**[次へ]**をクリックします。

[Printer Model] メニューには、TxLink5 でサポートされていない Printer Model (TxLink4 でサポートされている Printer Model) も表示されることに注意してください。



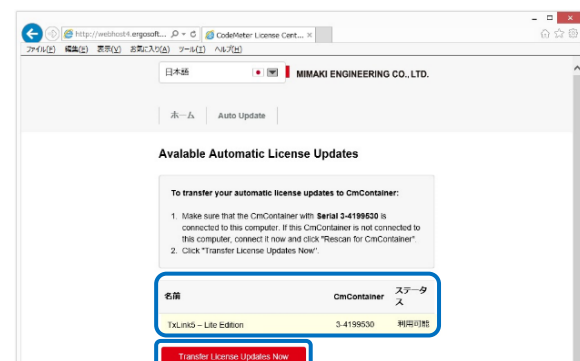
17 **[Mimaki Automatic License Update]** 画面が表示されます。

[CmContainer を選択する] リストで、USB ドングルに印刷されているシリアル番号が選択されていることを確認し、**[Check License Update]** をクリックします。



18 **[Available Automatic License Updates]** 画面が表示されます。

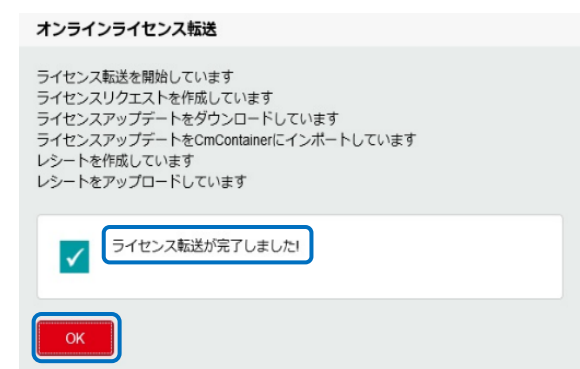
内容を確認し、**[Transfer License Updates Now]** をクリックします。



19 ドングルにライセンス情報が書込まれます。

ライセンス転送中は、dongle を抜いたり、ブラウザ画面を操作したりしないでください。

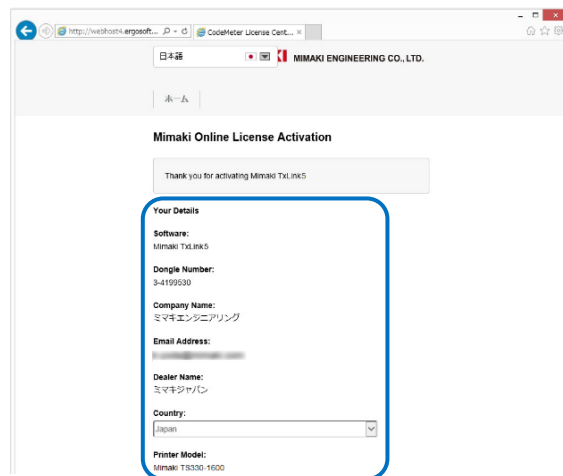
「ライセンス転送が完了しました!」 メッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。



20 ライセンス認証の結果が表示されます。

この内容は、ご登録された E-mail アドレスに送信されます。

Web ブラウザを閉じて、TxLink5 のインストールを続行してください。



21 [ライセンスアクティベーション] 画面で[続行する]をクリックして、インストールを続けます。



22 インストールの完了の画面になります。

[次へ]をクリックします。

23 TxLink5 セットアップの完了の画面になります。

[完了]をクリックします。



・ [Windows 開始時にコントロールセンターを起動]

： OS 起動時に TxLink5 コントロールセンターが自動で起動します。

TxLink5 セットアップの完了の画面で[完了]をクリックすると、TxLink5 コントロールセンターが起動します。

・ [デスクトップにショートカットを作成]

： デスクトップに TxLink5 コントロールセンターのショートカットを作成します。

TxLink5 の初回設定

プリント環境の設定

プリント環境とは

プリント環境とは、出力情報（プリンター、出力ポート、出力解像度、ICC プロファイル等の設定）を1つにまとめたものです。これを設定することで、適切な状態で出力が可能となります。

プリント環境の追加方法

プリント環境の追加方法には2種類あります。

- 弊社公式サイトよりプリント環境ファイルをダウンロードし追加する。
- ご自身でプリント環境ファイルを作成・追加する。

ここでは、TxLink5 初回起動時に弊社公式サイトからダウンロードしたプリンター環境ファイルを適用する方法を説明します。ご自身でプリント環境ファイルを作成・追加する場合、TxLink5 の2回目以降の起動時の手順はアプリケーションノート『プリント環境』の[プリント環境を読み込む]の章を参照してください。

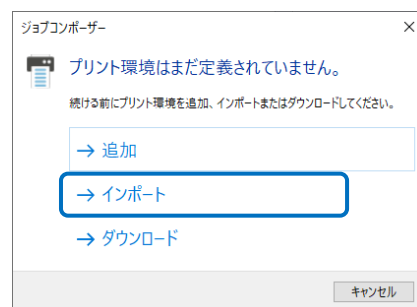
- 1 弊社公式サイト(<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>)の各プリンターのダウンロードページより、プロファイルをダウンロードします。

- ・拡張子は*.PrEnv です。
- ・機種、インクによりご提供が無い場合があります。

- 2 [TxLink5 コントロールセンター] で [ジョブコンポーザー] をクリックします。



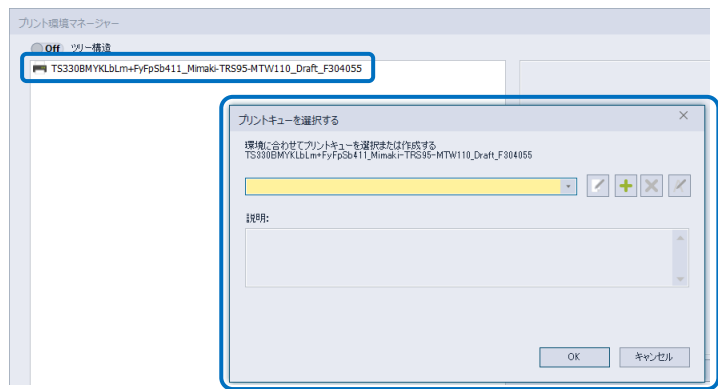
- 3 ・ジョブコンポーザー初回起動時は、[プリント環境マネージャー] 画面と「プリント環境はまだ定義されていません」画面が表示されます。[インポート] をクリックします。



- 4 [開く] 画面が表示されます。

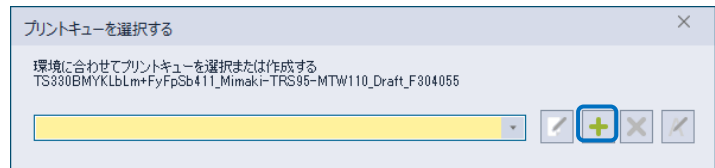
弊社公式サイトからダウンロードしたプリント環境ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

- 5 [プリント環境マネージャー] 画面に選択したファイルが追加され、[プリントキューを選択する] 画面が表示されます。



- 6 PC にプリンターを接続し、プリンターの電源を入れた後、以下の設定を行います。

- 7 [プリントキューを選択する] 画面で [+] (新規) ボタンをクリックします。



- 8 [プリンター設定の編集] 画面が表示されます。

[ポートを追加] をクリックします。

- 9 [ポートを追加する] 画面が表示されます。
ここでは TS330-1600 を例に説明します。

USB2.0 で接続している場合は[ミマキ USB2 ポート]、Ethernet ケーブルで接続している場合は[ミマキ TCP/IP]を選択し、[はい] をクリックします。

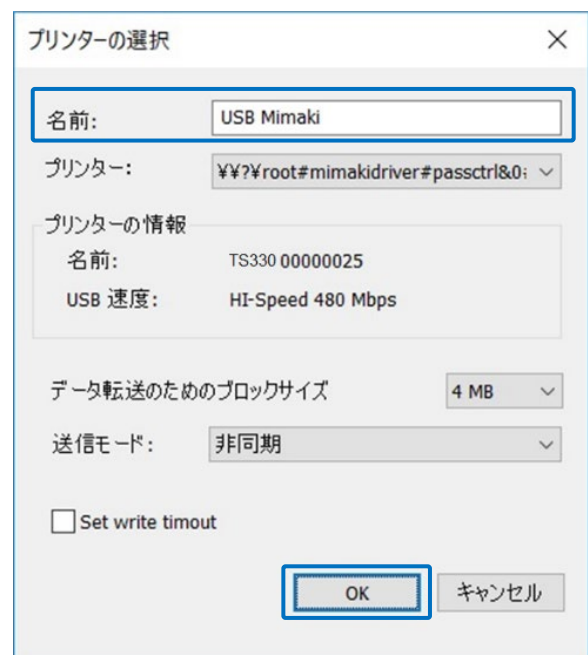
Tiger Series を使用する場合はアプリケーションノートの [プリンターポートの設定] を参照してください。

10 [ミマキ USB2 ポート] を選択した場合

[名前] 欄に、プリンターを識別できる名前を入力します。

・複数台プリンターを設定する場合、同一の名前を付けることはできません。

設定したら [OK] をクリックし、画面を閉じます。

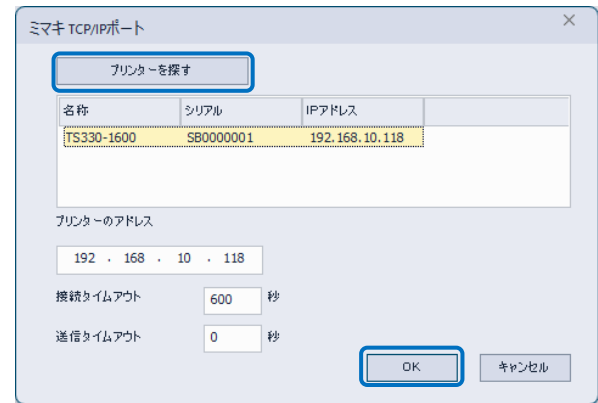


[ミマキ TCP/IP] を選択した場合

[Search Printer] ボタンをクリックします。

・リストに現在接続されているプリンターが表示されますので、それを選択します。

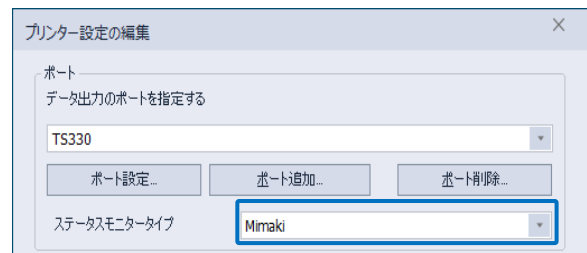
選択したら [OK] をクリックし、画面を閉じます。



11 [プリンター設定の編集] 画面に戻ります。

[ステータスマニタータイプ] リストから [Mimaki] を選択します。

[OK] をクリックします。



12 [プリントキューを選択する] 画面に戻ります。

プリントキューリストで新規に作成したプリントキューを選択します。

[OK] をクリックし、[プリントキューを選択する] 画面を閉じます。

13 上記の設定を行った後、[プリント環境マネージャー] 画面で[設定] をクリックします。

[プリント環境の設定] 画面が表示されますので、次ページ以降の [インクの設定], [プリンターから出力設定を取得する] を行ってください。

インクの設定

機種、使用するインクカラーにより、プリンターに搭載されているインクのスロット順を設定する必要があります。

- **Tx シリーズでは必ずこの設定を行ってください。弊社から提供しているプリント環境ファイルでも設定が必要です。**

- TS330-1600, TS55-1800 では蛍光色を使用する場合のみ、設定が必要な場合があります。

- **上記以外の機種、インクカラーではこの設定を変更しないでください。**

〔プリント環境の設定〕画面の左のリストより〔プリンティングインク割り当て〕を選択します。

〔Tx シリーズの場合〕

プリンターに搭載されている順に、インク色を設定していきます。

- 以下の条件の場合、次のように設定してください。

レッドとオレンジが同時に搭載されている：

レッド : [オレンジ／赤]

オレンジ : [プロファイルチャンネル 8]

ブルーとバイオレットが同時に搭載されている：

ブルー : [ブルー／紫]

バイオレット : [プロファイルチャンネル 8]

- 選択項目に該当する色が無く、かつ、ICC プロファイルに含めたい場合、[プロファイルチャンネル 8]～[プロファイルチャンネル 12]を選択してください。
- 選択項目に該当する色が無く、かつ、ICC プロファイルに含めず、色置換でのみ使用したい場合、[スポットカラー1]～[スポットカラー6]を選択してください。

〔TS330-1600, TS55-1800 で蛍光色を使用する場合〕

- 弊社より提供しているプリント環境ファイルをご使用の場合 : この設定を変更しないでください。
- ご自身でプリント環境を作成した場合 :
初期設定では蛍光色は、色置換でのみ使用する設定となっています。TxLink5 で蛍光色を含めた ICC プロファイルを作成したい場合、以下のように変更します。

変更前（色置換でのみ使用）	⇒	変更後（ICC プロファイルでも使用）	インク色
スポットカラー1 (S1)	⇒	プロファイルチャンネル 8 (P8)	蛍光イエロー
スポットカラー2 (S2)	⇒	プロファイルチャンネル 9 (P9)	蛍光ピンク

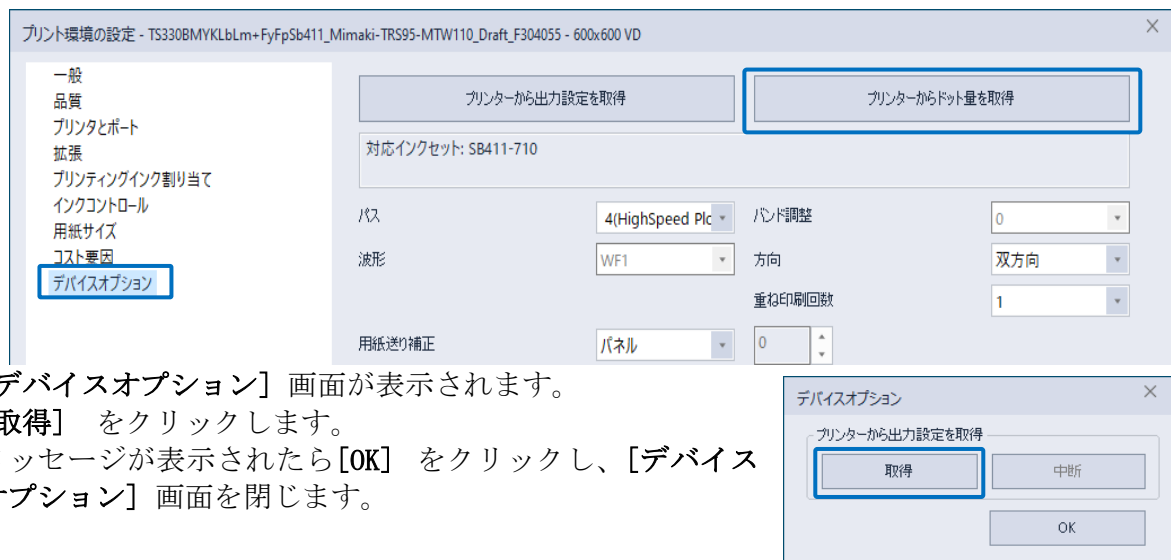
プリンターからインクのドット量を取得する

TS100-1600, TS330-1600, TS55-1800, Tx300P-1800MkII, TS330-3200DS, Tx330-1800, TS200-1600 の場合

接続したプリンターから、インクのコスト計算に必要なドット量の情報を取得します。また、その他のプリンター固有情報（ファームウェアバージョン等）も取得します。

注： P I C T対応プリンターの場合、P I C Tの機能を使用するためには、本機能でプリンターのファームウェアバージョン情報を取得する必要がある点に注意してください。

- ① [プリント環境の設定] 画面の左のリストより[デバイスオプション]を選択します。
- ② [プリンターからドット量を取得] をクリックします。



- ③ [デバイスオプション] 画面が表示されます。
[取得] をクリックします。
- ④ メッセージが表示されたら[OK] をクリックし、[デバイスオプション] 画面を閉じます。

上記の設定を行った後、[OK] をクリックして[プリント環境の設定] 画面を閉じます。

プリンターから出力設定を取得する

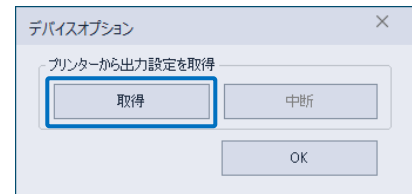
TS100-1600, TS330-1600, TS55-1800, Tx300P-1800MkII, TS330-3200DS, Tx330-1800, TS200-1600 の場合
接続したプリンターで利用できる印刷設定(解像度、パス数等)をプリンターから取得する必要があります。

- ⑤ [プリント環境の設定] 画面の左のリストより[デバイスオプション]を選択します。
- ⑥ [プリンターから出力設定を取得] をクリックします。



- ⑦ [デバイスオプション] 画面が表示されます。
[取得] をクリックします。

※. 出力ポートに Ethernet を指定している場合、データの取得に数秒かかることがあります。



- ⑧ メッセージが表示されたら[OK] をクリックし、[デバイスオプション] 画面を閉じます。

上記の設定を行った後、[OK] をクリックして[プリント環境の設定] 画面を閉じます。

[OK]をクリックし[プリント環境マネージャー] 画面を閉じると、[ジョブコンポーザー] 画面が表示されます。



ご自身でプリント環境を作成した場合、ここまでの設定で、印刷できるようになりますが、最適な状態ではありません。ダウンロードしたマニュアル内のアプリケーションノートをご覧ください、以下の設定を行ってください。

- ・ 濃度誤差情報およびプリンタープロファイルを作成する：[総インク量の制限とブリード確認チャート], [プリンターリニアライゼーション], [ColorGPS でプリンタープロファイルを作成する]
- ・ 出力設定(解像度/パス数等)を設定する：[プリント環境]

マニュアルダウンロード

TxLink5 のマニュアルは、TxLink5 起動後に、ジョブコンポーザーのメニューよりダウンロードしてください。

[ヘルプ]—[Web 上のミマキ]—[ドキュメントのダウンロード] を選択します。

こんなときは

TxLink5 ジョブコンポーザーを起動する

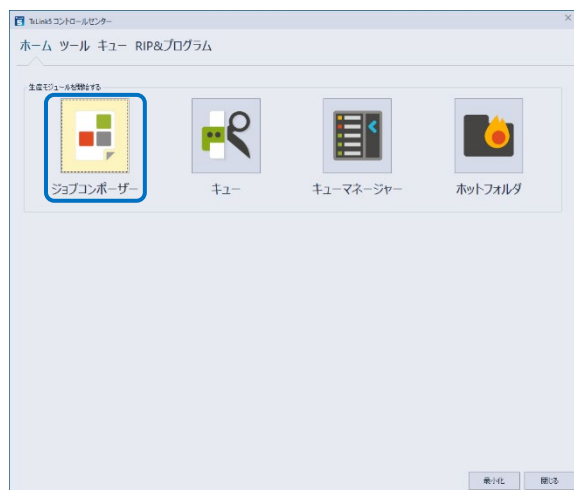
必ず USB ドングルを接続してから TxLink5 を起動してください。

- 1 デスクトップ上の[TxLink5 コントロールセンター]アイコンをダブルクリックします。

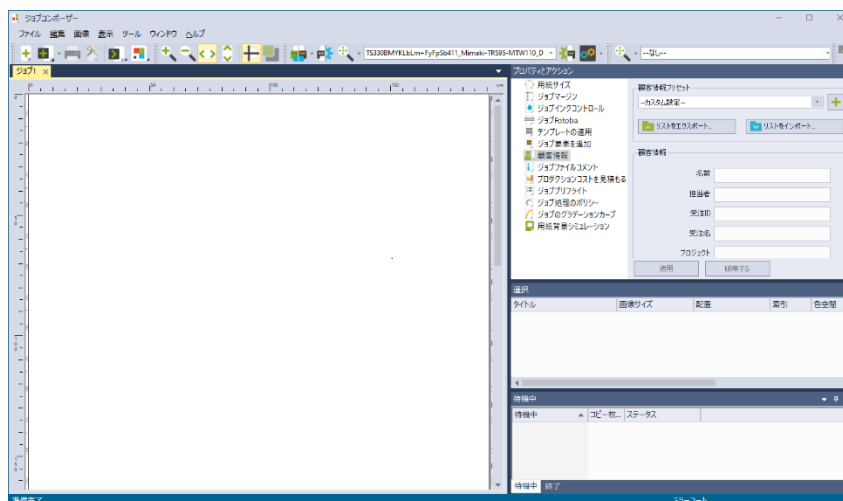
スタートメニューから起動する場合は [TxLink5] > [TxLink5 コントロールセンター] を選択します。



- 2 TxLink5 コントロールセンターが起動します。[ジョブコンポーザー] をクリックします。



- 3 ジョブコンポーザーが起動します。



測色器を使用する

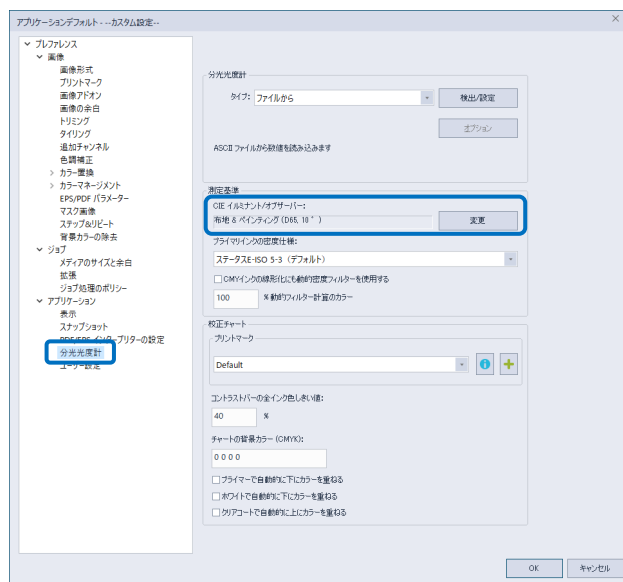
測定基準の設定

カラープロファイルの作成や、カラー置換で測色器を使うことができます。

使用する前に以下の設定を行ってください。

- 1 ジョブコンポーザー画面のメニューより **【ツール】** > **【アプリケーションのデフォルト】** を選択します。
- 2 **【アプリケーションデフォルト】** 画面が表示されます。

画面左のリストより **【分光光度計】** を選択します。
- 3 **【測定基準】** 欄の **【変更】** をクリックします。
- 4 **【測定仕様】** 画面が表示されますので、使用されるプリント環境のプロファイル作成時に使用した測定仕様を選択し、**【はい】** をクリックします。
- 5 **【アプリケーションデフォルト】** 画面に戻りますので **【OK】** をクリックし、画面を閉じます。



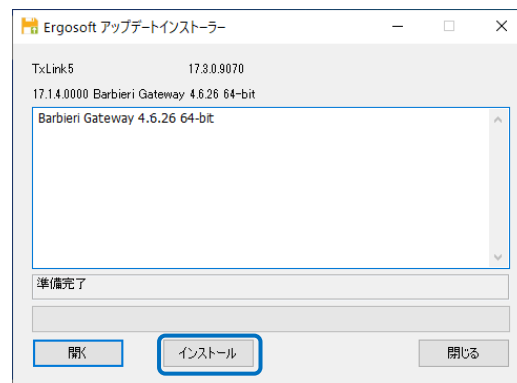
Barbieri のセットアップ

Barbieri の測色器を使用する場合、TxLink5 専用の **Barbieri Gateway** をインストールする必要があります。

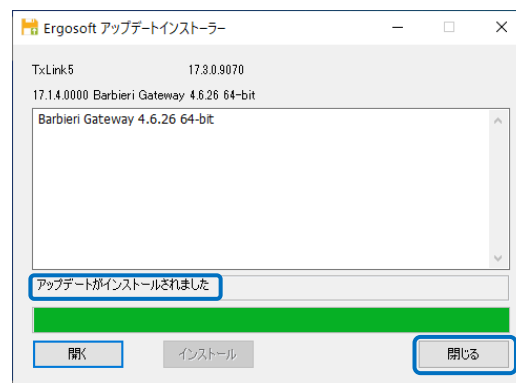
- 1 TxLink5 のインストーラーファイルを展開し、**【CD Menu.exe】** をダブルクリックします。
- 2 CD のメニュー画面が表示されます。 **【BARBIERI 測色器用 機能拡張】** をクリックします。



- 3 [Ergosoft アップデートインストーラー] 画面が表示されます。[インストール] をクリックします。



- 4 インストールが始まります。
インストールが完了したメッセージが表示されたら [閉じる] をクリックします。



USB ドングルの場所を変更する

TxLin5 インストール時に指定した USB ドングルの場所はメンテナンスツールで変更することができます。

- 1 [TxLink5 コントロールセンター] の [ツール] タブ で [メンテナンスツール] をクリックします。

[トラブルシューティング] > [CodeMeter ドングルネットワーク構成] をクリックします。

[ドングルの場所] 画面が表示されます。

